

ドイツ食品普及協会開設 独チーズやビール 日本市場で普及振興



展示会で賑わう
ドイツビールブース

元CMAドイツ農産物振興会の森本智子氏はこのほど「ドイツ食品普及協会」(www.doitsushoku.com)を立ち上げた。乳製品やハ

ム・ソーセージ、ビールなどドイツ食品を核に輸入商社、小売店、飲食店のネットワークを築き、日本での認知度・イメージ向上を目

指し、消費者へのPRなども行っていく。

主な活動はニュースレター発行、イベント案内、ド

イツのサプライヤー・新商品紹介、小売・レストランへの食材紹介、消費者PRなど。4月には東京ビッグサイトで行われた「ワイン&グルメジャパン2010」ではドイツ・オーストリアのビールコーナー出展に協力。イエナ、大栄産業、月桂冠、リョーカジャパンなど8社が出展。16世紀創業の歴史あるポシンガー・

ブライ男爵家所蔵イアルバツハ醸造所などが注目を集め、ブースは多くの人で賑わった。

ドイツ食糧・農産物の海外普及振興活動は、昨年活動停止したCMAに代わり在日ドイツ商工会議所が事業を継承。しかし商工会議所ではドイツ企業の日本市場への参入招致に活動を限っているため、日本国内でのドイツ食品・食文化の普及振興の取り組みは個々の企業が行うのみとなっていた。